

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-005

PDCA	事務事業名	橋梁維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部 土木課 維持管理担当	担当	榊原	
					内線等	440	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (2) 生活道路の整備 個別施策： ②道路の長寿命化対策					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	主要な橋梁の適切な維持管理					
	目的を達成するための手段・活動内容	橋梁の点検、修繕・改修を計画的に行い、施設の長寿命化による管理コストの削減を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①橋梁修繕を実施した橋数	2	4	3	橋	
		②橋梁点検を実施した橋数	65	33	0	橋	
		③					
		事業費	32,945	52,918	53,195	千円	
		人件費	3,177	3,173	3,378	千円	
		総事業費	36,122	56,091	56,573	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①橋梁修繕1橋にかかるコスト	12,245	10,265	18,858	千円		
	②橋梁点検1橋にかかるコスト	179	455	0	千円		
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①修繕橋梁数	実績値	2	4	3	橋
			目標値	3	5	3	
②点検橋梁数		実績値	65	33	0	橋	
		目標値	25	40	0		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B					
		修繕計画に基づき、目標としていた3橋の修繕を実施し、橋梁の適正な維持管理を行うことができた。 引き続き、法に基づく5年毎の定期点検を実施し、異常の早期発見および修繕を行っていく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			①修繕橋梁数	5		橋	
			②点検橋梁数	10		橋	